



藤森照信氏講演会

講演テーマ 自然を生かした建築と道の駅

10月31日(土) 午後2時～
総合センターらぽーる



設計に込められた思いと、道の駅が目指す姿を知る機会に

令和10年秋の開業を目指して整備が進む道の駅。このたび、建物の設計監修を担う建築家・藤森照信先生をお招きし、講演会を開催します。講演では、藤森先生のこれまでの活動や今関心を寄せていること、そして今回の那珂市「道の駅」の設計に至った経緯や建物に込めた思いなどについてお話いただく予定です。道の駅の魅力や背景にある考え方を知り、開業への期待をより身近に感じていただける機会です。

SPEAKER | 講師 藤森 照信氏

昭和21年、長野県に生まれ育ち、東北大学で建築を、東京大学大学院で建築史を学ぶ。東京大学教授として日本近代建築史を研究し、「明治の東京計画」「日本の近代建築 上・下」(岩波書店)、「建築探偵の冒険」(筑摩書房)、「丹下健三」(新建築社)などを出版する。45歳の時「神長官守矢史料館」で建築家としてデビュー。自然と人工の調和をテーマにして“科学技術を自然で包む”方法を見だし、以後、この方法を続け、近年では「草屋根」「多治見市モザイクタイルミュージアム」を完成させた。現在、東京都江戸東京博物館館長、東京大学名誉教授、工学院大学特任教授。



ラコリーナ近江八幡 草屋根



多治見市モザイクタイルミュージアム



小泊 Fuji



神長官守矢史料館

地域の皆さんとともに育てる道の駅へ

道の駅は、買い物や休憩の場にとどまらず、人が集い、地域の魅力を発信し、新たなつながりを生み出す拠点となることを目指しています。講演会は、そうした道の駅の意義や共創のストーリーを共有し、市民の皆さんや親子世代に、これから始まるワークショップや今後の展開に関心を持っていただくきっかけとなるものです。

地域の皆さんと一緒に、この道の駅を育てていく第一歩として開催しますので、ぜひご参加ください。

開催概要

内 容：藤森氏の作品紹介と最近の関心事、道の駅のデザイン など

対 象：市民の皆さん、道の駅に関心のあるかた

参加費：無料

定 員：300人

申込方法：申し込みフォーム

(申込者多数の場合は抽選)

申込期間：9月15日(火)～10月2日(金)

